

次期総合戦略（素案）に係る意見等の内容及び当該意見等に対する市の考え方（創生会議）

No	意見等	市の考え方	担当課等	資料等
1	<p>「2040年に人口3万4千人」という数字だが、非常にチャレンジングな数字となっている。まずチャレンジングな数字を掲げたこと自体は、市として頑張りますという決意表明をしていると思っているが、公的な機関で予想しているのが2040年で約3万人という数字になっているから、今からすると1万人この人口推計でこの20年間減るという予測なのだろうという中で、それを6千人減に抑えるという相当チャレンジングな目標設定だと理解している。そうであるならば、今まで通りのやり方ではなおさら無理で、是非もう少し色んな施策を取り入れていくべきではないかと思っている。</p>	<p>人口3万4千人というチャレンジングな数字を掲げていること及び数値目標について正直に数値を明らかにしていることについて評価をしていただいているものと考えている。チャレンジングな取組に対する施策については、次年度の予算で的を絞って取り上げていきたいと考えている。</p>	企画課	資料1
2	<p>「市民の希望出生率1.83」という数字について、公的な統計で算出されている合計特殊出生率もあるが、どちらかに統一するのか。また、現時点の希望出生率を教えてください。</p>	<p>現在設定している1.83という出生率は、人口ビジョンを作成した当時のアンケートや市民委員会等の意見をいただく中で定めたものである。現状、最新の市民の希望出生率の数字は出していない。これまでの人口ビジョンに定めている通り、段階的に引き上げて最終的に2040年に1.83に到達するような計画としている。</p>	企画課	資料1 資料5 P5
3	<p>数値目標の数値に市民アンケート調査の結果が書かれているが、前回のアンケート結果からそれほど大きく変わっていない。だから、前回の総合戦略が良かったかどうかというところ、この数値だけ見て言うと、あまり評価できないということになる。今回の見直しを前回と同じ方向性で行うものだとすると、やはり同じようにうまくいかない可能性がある。もう少し見直すところを増やした方が良いのではないかと思う。ただ、正直にこの数値を報告していることは、非常に良いことだと思う。現状認識をみんなで共有すること自体はとても良いことなので、是非この数値を真摯に受け、どのように新しいことを考えるか、今までなぜこの数値が上がらなかったのかを考えるべきだと思う。</p>	<p>今回のアンケート結果を真摯に受け止め、各事業について見直すべきところは見直し、目標達成に向けて施策・事業の着実な実行に取り組んでいく。</p>	企画課	資料3 全体

次期総合戦略（素案）に係る意見等の内容及び当該意見等に対する市の考え方（創生会議）

No	意見等	市の考え方	担当課等	資料等
4	<p>全体的に良くなっていると感じているが、もう少しデジタル的な施策が入ると良いと思う。今風な施策を入れられないかなというのが気になっている。先取りしていくようなことも考えないと、2040年の人口3万4千人は達成できないのではと思う。是非考えてもらいたい。</p>	<p>デジタル的な施策も含め、目標達成に向けて必要な施策・事業については、検討していく。</p>	<p>企画課</p>	<p>資料3 全体</p>
5	<p>PDCAの流れが分かりにくいと感じる。このように考えて、計画して、実行して、結果こうなりました、したがって次はこうしましょうというような流れが分かりやすくなると、この会議がより生きてくるのではないかと思う。</p>	<p>今後、次期総合戦略についても実行計画を策定する予定であり、市民の皆さんにPDCAの流れが分かりやすいものとするよう検討していく。</p>	<p>企画課</p>	<p>資料3 全体</p>
6	<p>現状を把握することが大切だと思っていて、そこが分からないと、何をもって子育てしやすいと感じるのかを掴めないと思う。「子育てしやすいと感じる世帯の割合」がここに出ているが、どのような項目で調査したのかを教えてください。</p>	<p>まず「子育てしやすいと感じる世帯の割合」については、昨年度実施した市民アンケートの中で「あなたは、富津市は子育てしにくいところだと思いますか」という質問をしている。そこで「思う」、「思わない」、「どちらともいえない」という三択の中で回答してもらい、「思わない」が25.8%であったことから、当該割合を26%としている。</p> <p>次に同アンケートの中で「富津市が子育てしやすい地域になるためには、何が重要だとお考えですか」という質問への回答をもらっていて、項目としては「働く場の確保による経済的な安定」、「安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所」、「放課後でも安心して子どもが過ごすことのできる施設やサービス」、「結婚・妊娠・子育てに関する周囲の理解」、「子育て世帯に対する地域（地区）住民の支援」、「子育てに関する相談機関」があり、この中から選択をしてもらっている。最も多かった回答が「働く場の確保による経済的な安定」で全体の4割弱を占めていて、次いで「安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所」、「放課後でも安心して子どもが過ごすことのできる施設やサービス」となっている。</p>	<p>企画課</p>	<p>資料3 P1</p>

次期総合戦略（素案）に係る意見等の内容及び当該意見等に対する市の考え方（創生会議）

No	意見等	市の考え方	担当課等	資料等
7	<p>（意見1） 「結婚を希望する人の縁を結ぶ」ということについて、すでに地域・民間は、出会いの場をたくさん創っているのに、その支援というところに力を入れて、地域・民間が行う「出会いの場の創出」を促進できるようにすれば良いのではないかと。具体的には、今、若い人たちはマッチングアプリ「Pairs（ペアーズ）」や「Omiai（お見合い）」などをよく使っているが、その手数料や利用料を富津市民なら無料にするなどがある。行政として全くイベントなどを開催せず、地域・民間への開催支援として補助金などで支援していくことが良いのではないかと思う。</p> <p>（意見2） 出会いの場や婚活について、行政が実施すると堅苦しいという考えもあるのかもしれないが、皆さんが気軽に集まれるような場を行政がつくるのも良いと思う。</p>	<p>マッチングアプリを使用する施策も含め、目標達成に向けて必要な施策・事業については、検討していく。</p>	市民課	資料3 P1
8	<p>「（仮称）地域交流支援センター事業」の内容を教えてください。また、当該センターは、市の職員が運営するのか。</p>	<p>（仮称）地域交流支援センターは、来年4月開設予定で、子育て親子の交流の場の提供や相談事業などを実施する予定である。今現在、富津地区及び大佐和地区では支援センターを私立保育園で実施しているが、南部地域には支援センターがないので、市で設置を予定している。</p>	子育て支援課	資料3 P2,3
9	<p>「（仮称）地域交流支援センター事業」や「ワークショップの開催」は、どんどん民間に任せていけば良いと思う。</p>	<p>地域交流支援センターは、子育て親子に交流機会を提供するほか、地域の様々な世代の人々を掘り起こし、子育てと結びつけ、地域や社会で子育てする意識を醸成することを目的の一つとしている。子育てに限らない幅広い分野とのネットワークを生かすことは、行政の特性であると考え。また、民営の子育て支援センターが既に設置されていることから、多様な選択肢を提供することは子育て親子のためになると考える。</p> <p>「ワークショップの開催」については、民間が持つスキルやノウハウを生かすことで、効果が増すと考えられ</p>	子育て支援課	資料3 P2,3

次期総合戦略（素案）に係る意見等の内容及び当該意見等に対する市の考え方（創生会議）

No	意見等	市の考え方	担当課等	資料等
10	<p>「子どもの学習支援事業」は、民間に任せていけば良いと思う。今だとオンラインで学習できるサービスもあるし、塾の費用を立て替えてあげるといって、市の職員が学習支援を直接しなくても、学習支援は塾でしているものなので、塾の費用を負担するという形で支援して、職員の実働はしなくて良いのではないかと。</p>	<p>るため、開催方法を検討する。</p> <p>本事業の対象者は、生活困窮世帯に属する小学生及び中学生であり、学習支援のみならず生活習慣及び育成環境の改善支援を実施し、ひいては貧困連鎖の防止を目的としているため、学習塾とは形態が異なる事業である。</p>	社会福祉課	資料3 P4
11	<p>現総合戦略の目標値について、全体的にアンケートの評価指標に偏りがちだが、例えば「子どもが確かな学力を身につけるための取組に対する保護者の肯定的な評価の割合」、これ自体は良いと思うが、県の平均と比較して富津市の子どもの学力テストの結果が上か下かの方が分かりやすい数字なのかなと思う。保護者が満足しているかという観点も良いと思うが、実際に成果が上がっているかという観点からの数字を是非取り入れていただければと思う。</p>	<p>千葉県標準学力検査において、県平均との比較を行っているが、現在、その結果は公表していない。総合戦略の目標値にそれらの数値を取り入れるかについては、その効果や課題を踏まえた上で検討していきたい。</p>	教育センター	資料3 P4
12	<p>子どもが小学生になったときに、他市では行っている算数検定などを富津市では聞いたことがなく、成長するにつれて学力の差が出てしまうと他市に行きたくなるというような話も聞く。富津市でもそのようなものを取り入れていく予定はあるのか。</p>	<p>今のところ市で算数検定を取り入れる予定はないが、学力向上の手立ての一つとして「学習のてびき」や国語ドリル、算数ドリルなどを作成し、各学校に配付している。今後も学力向上に向けて努力していく。</p>	教育センター	資料3 基本目標1 関係
13	<p>追加した方が良いと思う施策として、ベビーシッターがある。今はまだ保育園や幼稚園に余裕があるが、子どもが増えてきたら、保育園をつくっても間に合わない。この間を補うのはベビーシッターしかないと思う。「KIDSLINE（キッズライン）」などのベビーシッターとお母さんとのマッチングサービスもあるので、その利用料を負担するとか、それとは別に市がプレイヤーとなってベビーシッターを雇うという形で支援するなどがあるかと考える。</p>	<p>現在市では、ファミリーサポートセンターで子育ての手助けをしてほしい方や子育ての手助けをしたいという方がそれぞれ会員登録をしていて、そのマッチング事業を実施している。</p>	子育て支援課	資料3 基本目標1 関係

次期総合戦略（素案）に係る意見等の内容及び当該意見等に対する市の考え方（創生会議）

No	意見等	市の考え方	担当課等	資料等
14	<p>以前、日経新聞で学校の先生はブラック労働になりがちなので、学校にボランティアの方とか補助支援要員の方を入れたらどうかという検討を他の自治体ではしているという記事を目にした。富津市の学校の先生の実情は分からないが、そういったことを含めて検討するのも良いと思っている。</p>	<p>現在、指導補助教員や特別支援教育指導員などを配置している。また、教職員の勤務時間を短縮し、効率的に業務に取り組めるよう働き方改革に努めている。</p>	教育センター	<p>資料3 基本目標1 関係</p>
15	<p>出会いの場について、市でイベントを開催したりしていると思うが、主として参加している方の年齢層を見ると子どもや高齢者で、若い方の参加が少ないのではないかと思う。今後、出会いの場等を含めた中で、参加する層として高校生くらいをターゲットにしていくと、その先に出会いがあったり、また市の行事で知り合うことで市に家を構えるようなことにつながるのではないかと思う。</p>	<p>現総合戦略で掲げている「市民参画イベントの実施」は、出会いの場の創出に係る施策の趣旨と合わないことから、次期総合戦略においては記載しないことを考えている。今後、出会いの場の創出に係るイベントを実施する際は、ターゲットを絞ったものにする必要があると考えている。</p>	企画課	<p>資料3 基本目標1 関係</p>
16	<p>「ふっつのいいこと発信事業」については、民間に任せれば良いのではないかと思う。具体的には、アンバサダーとか観光大使とか、民間で情報を発信している人に何かしらのお礼や助成金などを出すなどしてあげると良いと思う。市が富津市の魅力など全ての情報を発信しようとしなくて、それができる民間とタッグを組む方法もあると思う。</p>	<p>(秘書広報課) 民間が有するアイデアやノウハウの活用も含め、効率的かつ効果的な情報発信手段を検討する必要があると考える。</p> <p>(商工観光課) アンバサダーや観光大使を含め、市民や観光客の発信力を活用した情報発信手段を検討する必要があると考える。</p>	秘書広報課 商工観光課	<p>資料3 P6, 8, 15, 20</p>
17	<p>スポーツフェスタは、いずれは民間に任せる方向で考えた方が結果的には良いと思う。</p>	<p>現在、市が事務局となって、スポーツ推進委員、地区、スポーツ団体代表者等実行委員会形式による市民の手作りで実施しているが、民間への委任も含め実施委員会への検討をしていきたい。</p>	生涯学習課	<p>資料3 P8</p>
18	<p>もともと富津市に住んでいる人のほとんどは、富津市が大好きだから暮らしにくいとは思っていないが、他から引っ越してきた人などは、感じ方が違うと思う。富津市が好きなんだけど結局仕事を選ぶとなったときは、富津市</p>	<p>転入者アンケートの活用のほか、特定世代に特化した市民意見の聴取等を検討し、施策反映につなげていきたいと考えている。</p>	企画課	<p>資料3 基本目標2 関係</p>

次期総合戦略（素案）に係る意見等の内容及び当該意見等に対する市の考え方（創生会議）

No	意見等	市の考え方	担当課等	資料等
	<p>を出ざるを得ないということになっているので、例えば今の高校3年生とか20歳くらいの人生の分岐点にいるような人たちに話を聴けば良いのかなと思う。</p>			
19	<p>（意見1） 魅力を創っていく中で、富津市は南北に長く、5つ駅が連なっているが、メインの駅がどこなのか分かりにくいと感じている。ここが富津市のメインの駅だということを住民からも思ってもらいと、そのエリアを中心に発展していくと考えていて、そこに人が集まるという形をつくっていいのではないかなと思う。他の都市と比較して「ここが」という場所に欠けていると思う。魅力を創っていく中で、核となるエリアをつくって、そこから街を盛り上げていく、そこが発展していく、人がそこに集まるというスタイルもあるのかなと思う。人が集まることによって企業等の働く場が増えていくと思う。市のメインエリアというのをつくっていくと良いと思う。</p> <p>（意見2） 暮らしやすいというところで、何をもち暮らしやすいかということだと思うが、便利か便利じゃないかということを追いつけても難しいと思う。その地域が誇れるものは何があるのか、そこを磨いて特化した方が良いと思う。各地域にある地域固有の長所、ブランドをうまく発信していれば良いと思う。まずはどこを核にして磨いていくかが大切だと思う。そうすることで富津市のイメージも多くの人に伝わると思うから、是非考えてもらいたい。</p>	<p>各地域の特色を踏まえ、各種計画との整合を図りながらシティプロモーションの推進に努めていく。</p>	企画課	資料3 基本目標2 関係
20	<p>地域力というのは「場」と「人」の2つがあって、「場」については限度があるが、「人」の部分というところの魅力を上げるのは、市民とか行政で頑張っていけばもっともっと高められると思うので、「人」の魅力を上げるような施策とか事業がもう少しあると良いかなと思う。また、地域力を高</p>	<p>地域の魅力を上げるため、情報発信だけではなく、地域資源の活用やいつまでも安心して元気で暮らせるようなまちづくりに市民の皆さんとともに取り組んでいく。</p>	企画課	資料3 基本目標2 関係

次期総合戦略（素案）に係る意見等の内容及び当該意見等に対する市の考え方（創生会議）

No	意見等	市の考え方	担当課等	資料等
	<p>めるということに対して、富津市の魅力を発信するだけで、新たな魅力をつくるような内容が無いと思った。人が出てしまっているということは満足していないということなので、そこをしっかりと認識して、新しく地域の魅力をつくる施策を増やすと良いのではないかと思う。</p>			
21	<p>「有害鳥獣被害の軽減」についてだが、ここも民間に頼むということであれば、猟師の移住をサポートするとか、猟師の移住・定住を促進してあげれば良いのかなと思う。猪も多いし、危機意識を高めてやった方が良いと思う。</p>	<p>有害鳥獣対策は重要な施策の一つであると認識している。現在、全国的に狩猟者が不足しているため、市では狩猟免許の取得に対して補助を行い、有資格者の増加を目指している。また民間企業との連携も模索しているところである。猟師の移住サポートについては、移住・定住施策の中で検討していく。</p>	環境保全課	資料3 P13
22	<p>「移住しやすい環境を整える」について、東京まで1時間半で通えるというのは、アピールポイントとしては厳しいと思う。意外と近いというアピールはできるが、果たしてそこで勝てるのかと思う。東京まで意外と近いこともアピールしつつ、施策の方向性として提携都市をつくるなどして、良い点を補えるように連携してやっていったら良いのではないかと考えた。</p>	<p>現在、様々な分野で事業の広域化に取り組んでいるが、富津市がメリットを享受できることが重要であると考えており、必要に応じて事業の広域化を推進していく。</p>	企画課	資料3 P15
23	<p>富津市は環境が良いのでリタイアして移住してくる人も多く、高齢になって車を手放した後の生活について話題になるが、結局、車がないと不便なため、子どもたちも東京に戻りたいとか、逆に富津市から離れていってしまう。総合戦略は、高齢者や障がい者が住みやすい地域にすることにも取り組んでいるから、この辺を解決してほしいなと思う。高齢者が住みやすい環境になれば、子どもたちが環境良く育っていくのではないかと思う。</p>	<p>平成30年3月に策定した富津市地域公共交通網形成計画に基づき、地域、交通事業者、その他の関係団体と連携を図りながら、各種事業を進めている。</p> <p>これらのうち、令和元年7月から運転免許証を保有していない65歳以上の高齢者及び障がい者等、並びに妊産婦を対象とした富津市タクシー運賃助成事業を開始したので、活用していただきたい。</p>	企画課	資料3 基本目標3 関係
24	<p>マクロな目で見たとときに、富津市の立地は、東京への通勤圏という意味では少し遠いけど、ちょっと便利な場所に移住したいという場所としてはちょうど良いと思う。そういうところを踏まえて、富津市に来て何かをすること</p>	<p>市への移住・定住施策だけではなく、市の関係人口の増加施策について検討していく。</p>	企画課	資料3 基本目標3 関係

次期総合戦略（素案）に係る意見等の内容及び当該意見等に対する市の考え方（創生会議）

No	意見等	市の考え方	担当課等	資料等
	を促進するのが良いと思う。移住者というよりも関係人口の数を増やしていく施策が必要と感じる。			
25	<p>（意見1） 基本目標3の施策として「外国人の誘致」を入れても良いと思っていて、正直言って日本人は取り合いにしかならないから、例えば海外のどこかの都市と提携して関係都市をつくっていくのも良いと思う。</p> <p>（意見2） 外国人の移住については、なかなか微妙な問題だと思っていて、利害得失をよく見極めた上で考えた方が良いと思う。</p>	外国人の移住・定住については、現時点で施策として取り組む予定はない。	企画課	資料3 基本目標3 関係
26	休日農家の支援について、農業というのは大きな機械が必要であるが、その機械の貸出しなどができる環境にあるのか。借りやすい環境にあると、休日や老後にこちらで農業をするというライフスタイルを楽しむ人が移住してくるような、そういう魅力的なことができる場所かなと思う。	現在、農業の機械を貸し出すという制度は無いが、市民農園を開設していて、農地を市民に提供するという事業を実施しているので、まずはそこを利用して農業に親しんでもらいたい。	農林水産課	資料3 基本目標3 関係
27	「地域の魅力を内外に伝える」というのが施策の方向として基本目標3にも入って良いのではないかと思う。基本目標2にある「ふっつのいいこと発信事業」は、どちらかと言うと地域内でのブランドを高めるなどの部分での発信を担い、基本目標3では外部の人に市の魅力を発信する役割を担う、要は対内的な発信と対外的な発信をしっかり分けて、2つの軸でやった方が良いのではと思う。そうすると基本目標3の方は秘書広報課が担当するよりも民間にお願いするのが良いと思う。ハード部分の運用は民間に任せて、ソフトの部分、市の魅力は何なのかを考えて、こういう魅力にしていこうという方針を決めるなどのソフト部分は市がやれば良いと思う。ハードとソフトを二分することで、より柔軟かつ市の発信力向上につながると思う。担当する課の組替えて広報活動がかなり変わる気がするから、組織改編な	市の魅力発信は、対内的にも対外的にも必須であると考えることから、施策を進めていく上で関係する部署と連携し実施していく。	企画課	資料3 基本目標3 関係

次期総合戦略（素案）に係る意見等の内容及び当該意見等に対する市の考え方（創生会議）

No	意見等	市の考え方	担当課等	資料等
28	<p>どを検討する余地があるのではないかと思った。</p> <p>バスストップができて千葉にも東京にも新宿にも行かれるということで、とても便利になっていると思うが、車でバスストップまで行ける人は良いのだが、路線バスや電車を利用してバスストップまで来る人にとっては不便である。路線バスや電車の本数を増やすというよりは、路線バスの時間と電車の時間のつなぎをスムーズにするなどの工夫が出来たら、利用が促進できると思う。また、バスストップ周辺に住居ができれば、東京に通う人も便利だと思う。</p>	<p>富津浅間山バスストップからの二次交通について、路線バスという考えもあると思うが、バスストップの開設に当たり、路線バスについてバス事業者と協議したところ、新規路線については利用者数や採算性などが見込めないと難しいとのことだった。浅間山バスストップに市営駐車場があり、そこにタイムズのカーシェアリングで2台だが利用できる状況にある。事前に会員になる必要があるが、利用してもらいたいと思う。</p>	企画課	資料3 基本目標3 関係
29	<p>カーシェアリングは、年会費とは別に利用する際の料金がかかるのか。会員は個人だけか。また、カーシェアリングの利用は時間制か。</p>	<p>カーシェアリングの利用は、タイムズの会員になることが前提となっているため、年会費がかかるということになるが、利用があれば年会費相当分の時間を利用することができるなどのサービスもあるので、会員になって利用してもらいたい。</p> <p>会員には個人と法人がある。利用については、15分単位から利用できるようになっていて、1日パックなどもあり、用途により料金も変わってくる。</p>	企画課	資料3 基本目標3 関係
30	<p>有害鳥獣について、自宅の庭や目の前の生活圏道路にも出没して怖い。すぐに対策を取ってほしい。</p>	<p>安全・安心メール等を活用し、注意喚起を実施するとともに、必要に応じ、関係機関と協力しパトロール等を実施するなど、地域住民の安全確保に努めていく。</p>	環境保全課	資料3 基本目標3 関係
31	<p>空き家について、今までは空き家に付属する農地は一緒に買えなかったが、空家バンクに登録された空き家については、農地が付いている場合、空き家と一緒に買えるようになったので、空家バンクをもっと充実させて、その周知をしていけば、その分移住者が増えるきっかけになるのではないかと思う。</p>	<p>空家バンクを立ち上げているところだが、現状、登録物件数が1件となっている。空家バンクの利活用を推進する上で一番重要なのは、登録物件数を増やすことと考えていることから、次年度からの施策に向けて現在、空家バンクに係る利活用の推進策について検討している。</p>	企画課	資料3 基本目標3 関係
32	<p>お試し的な移住をやっている自治体もあるから、市もそういったものを用意して、一度富津市に住んでもらえるよう、市として積極的に受け入れている姿勢をPRすれば良いと思う。働き方についても、最近、週3日で良いという会社</p>	<p>お試し的な移住への取組は、移住・定住を促進する有効な手段と考えられるため、今後検討していく。</p>	企画課	資料3 基本目標3 関係

次期総合戦略（素案）に係る意見等の内容及び当該意見等に対する市の考え方（創生会議）

No	意見等	市の考え方	担当課等	資料等
	<p>もあるというのを聞いていて、そういった人がこれから増えてくるかもしれないので、先進的にそういった人たちを受け入れられる場所であるということをPRしていくというのは非常に良いことだと思うから、まずはお試しということで取り組んでみてはと思う。</p>			
33	<p>「働く場所の創出への満足度」の定義について、働く場の創出というのは2つあるとされていて、仕事場なのか仕事自体なのか。これによって優先順位が変わってくると思う。リモートワークができる場所があれば良いということなのか、それとも仕事を生み出してくれる場所ということなのか。つまり、欲しいのは仕事場なのか仕事なのかということ。この定義によっては施策の方向性に影響が出るため、どちらなのか教えてもらいたい。</p>	<p>行政の立場で物理的な意味で仕事場をつくるというのはハードルが高いと考えている。今回素案で「働く“場”をつくる」という文言で基本的な施策の方向を掲げているが、「雇用の創出」という現総合戦略の施策の方向性から変更した一番の要因は、市民アンケートの中で「これからの富津市に重要だと思うものを選んでください」という項目に対する回答で最も多かったのが全体の43.1%を占めた「働く場所の創出」であったということである。現在、雇用形態については、企業側からも見ても働き手側からも見ても様々な形態があって、定型に縛られるような状況ではないということから、空間的な場所ということも含んではいるが、主たるところは仕事自体に重きを置いているのが趣旨である。</p>	企画課	資料3 P17
34	<p>施策の方向として創業支援や企業誘致を掲げていること自体は良いことであると思っているが、いきなり企業誘致とか創業支援というのはハードルが高いと考えていて、もう少し前段で低いハードルで企業が来れるような施策があると良いと思った。例えば、商品のテストであるとか、マーケティングとして試させる場として、富津市自体を活用することができるのではないかと考えている。また、働き方改革で、最近リモート勤務などがあり、会社に行かなくて快適な所で働くという形態もある。そういった場所を市で設けることができれば良いと思う。施設に費用をかけなくても良いと思うから、例えば公民館の1室にプリンターと無線LANを置くだけでも良いと思う。</p>	<p>(商工観光課) 企業誘致や創業支援以外の施策について検討していく。</p> <p>(企画課) 市の関係人口の増加施策について検討していく。</p>	商工観光課 企画課	資料3 基本目標4 関係

次期総合戦略（素案）に係る意見等の内容及び当該意見等に対する市の考え方（創生会議）

No	意見等	市の考え方	担当課等	資料等
35	<p>企業誘致をするに当たって、紹介できる土地を提供していただければありがたい。企業誘致に当たって紹介できる土地を市のホームページに掲載してくれれば、割と企業に来てもらえる可能性はあるのかなと思う。土地を探している人も結構いるので、その辺を充実させていけば新たなPRになると思う。</p>	<p>(資産経営課) 処分可能な土地について整理を行い、広くPRできるよう検討する。</p> <p>(商工観光課) 紹介できる土地について、ホームページへの掲載を検討する。</p>	<p>資産経営課 商工観光課</p>	<p>資料3 基本目標4 関係</p>
36	<p>企業にも地元採用をしたいという企業が新富工場協議会内でも数社ある。実際のところ、求人を出してもなかなか来てもらえない。就職説明会にも参加して高校生に対して求人を出したりしているが、学校側にも生徒側にも新富にある企業の情報があまり知られていないのかなと感じている。教育センターに協力してもらって学校の先生にも新富工場協議会の企業見学などもしてもらって、どんな企業でどんな仕事をしているのかなどを見てもらっている。今後自分たちも協力していきたいと思っているので、是非とも地元の人を地元の企業へという形で協力いただきたい。</p>	<p>(商工観光課) 地元の企業情報について周知方法を検討していく。</p> <p>(教育センター) 今後も教員による新富工場協議会の企業見学等を行うとともに、社会科の授業や校外学習、進路指導などに活用できるような情報を提供していく。</p>	<p>商工観光課 教育センター</p>	<p>資料3 基本目標4 関係</p>
37	<p>未婚率の比較を見ると、30歳過ぎていてる人の未婚率が近隣市と比較すると高くなっている。30歳過ぎて仕事も落ち着くと、結婚するのも面倒になっている人もいるだろうし、出会いの場に自ら行くこともアプリを利用することもなかなかしないのではないかなと思う。そうすると職場の恋愛などが最も多くなってくると思うので、やはり女性が働く場所というのが増えないと、どうにもならないのかなとすごく感じた。婚活アドバイザー的な活動をしている人もいるので、そのような人の存在が広く知られるようにして、丁寧に出会いの場を創れば、少しずつでも結婚して、子どもが生まれるというようになると思う。</p>	<p>(企画課) 女性の雇用促進につながるような施策・事業を検討していく。</p> <p>(市民課) 結婚相談員などを活用して、出会いの場の創出に努める。</p>	<p>企画課 市民課</p>	<p>資料5 P6</p>

次期総合戦略（素案）に係る意見等の内容及び当該意見等に対する市の考え方（創生会議）

No	意見等	市の考え方	担当課等	資料等
38	<p>「富津市に住んでいて良かった点」の中で注目したのは、「近所との交流」と「治安」で、この項目は他の地域では見られないような項目だと思う。これはすごく意外なポイントだった。だから、転出した人がなぜこの項目を選んできたのかということを探掘りすると、街の魅力という意味ではヒントがあるのではないかと思う。</p>	<p>アンケート内容の充実を図り、転出者等の傾向をより詳細に捉えることに努める。</p>	<p>企画課</p>	<p>資料6</p>
39	<p>今回の台風で所有者不明の空き家に係る被災が結構多かった。周りの人は誰に相談していいかわからないという状況があったのだが、空き家対策への取組については、今後どのようにしていくのか。例えば、行方不明になったら解体するなど。対策については早く決めてもらわないと空き家だけのせいにはできないのではないかと思う。</p>	<p>今回の台風により相談は増えている状況である。今後の対策としては、条例と計画について順次策定を検討していく予定である。相談については、都市政策課で受け付けている。</p>	<p>都市政策課</p>	<p>その他</p>